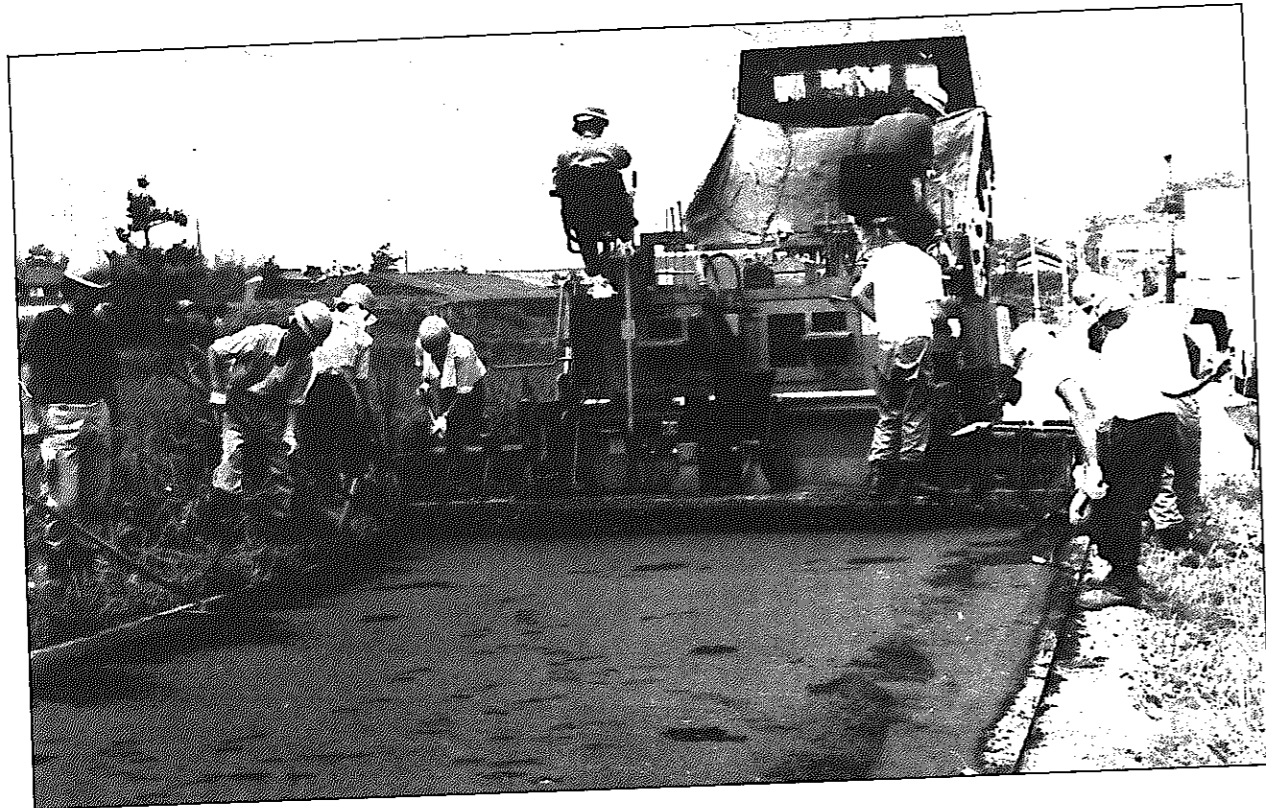


装率をさらに伸ばすため、全力を上げます。

62%の舗

- 道路新設改良費として…1億4,067万円
- 除雪に… 829万円
- 鷹巻地区農村改善センターの建設…1億2,400万円
- 県営農道整備負担…1,744万円
- 地盤沈下対策事業負担…5,600万円



建設行政の基本的課題は、地域の産業、経済の発展と、市民生活の都市環境整備を両立することです。

年々延長される高速自動車道と上越新幹線の開通に伴い、これらから受ける恩恵から取り残されることのないよう、幹線道路の国道八号線を軸に、主要地方道や生活基盤をささえる生活道路の整備を図り、生産、流通などの経済活動を活発にする必要があります。また、川に囲まれた本市においては水害から生命、財産を守ることが使命であり、治水対策については大きな関心をもって、対応しなければなりません。

このため、信濃川筋では堤防低部対策事業中ノ口川筋では堤防せい弱か所の護岸工事。さらに北端部の信濃川と中ノ口川合流地点の改修工事などに積極的に取り組んでいきます。また、地盤沈下対策事業につきましても、土地改良区や県と十分に連携をとりながら残りの事業について、その促進を図っていきます。具体的な建設関係の施策としては次のとおりです。

道路整備

市内の道路網整備については、国道八号線に接続する主要道路の整備改善を急がなければなりません。県道新津白根線の白井バイパス、同じくみの口地内での新設。県道白根田線の改良工事。県道白根安田線、新津茨曾根線の拡幅工事。国道の歩道整備など、地域の特性に応じた事業の早期実現に向けて、県へ必要な運動をしていきます。

次に、住民要望の多い市道の整備ですが、従来までの前年踏襲や継続優先の考え方から

緊急度の高い事業から重点的、効率的に取り組んでいく考えです。

主な公共事業としては、諏訪木鍋湯線の小林小学校前から下木山間に、八百四十七万円を歩道を設置します。菱潟新田尾線では昨年度に引き続き菱潟新田地内で拡幅工事を進めます。

このほか市の単独事業として道路改良工事に一千六百三十万円、道路舗装工事二千六百九十万円、道路側溝工事として一千八十万円を、防護柵設置工事に三百万円、土地改良区の共同事業分として三百万円。合計で六千万円措置しました。

治水対策

建設省直轄で引き続き庄瀬と大郷地区で、築堤工事が実施される予定です。また、信濃川と中ノ口川の下流合流点（下塩俵、鷲ノ木桜町）付近は、五十二年六月の豪雨を想定した場合、刈谷田川、五十嵐川、加茂川、能代川の各河川が改修されたために信濃川の流量が一挙に増大することになり、中ノ口川下流部では内水氾濫を起こす恐れが出てきました。このため、建設省ではすでに五十八年度から測量と調査を実施し、今年度から危険か所の改良事業に取り組み計画です。

中ノ口川の堤防せい弱か所は、県工事として引き続き護岸工事が実施されますが、関係町村とともに中ノ口川治水事業促進協議会を発足させ、事業のより一層の促進を関係機関に働きかけていきます。

地盤沈下対策

昭和三十六年度に緊急対策工事に着手して

きて以来、多額の経費を投入し、各種事業を実施してきました。新年度の事業は、まだ明らかではありませんが、その負担金として五千六百万円を計上しました。

農道整備

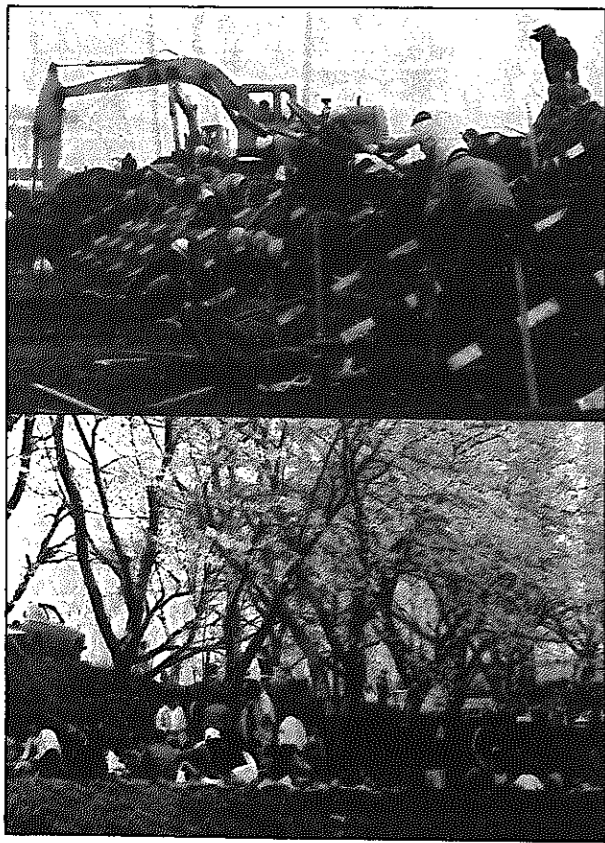
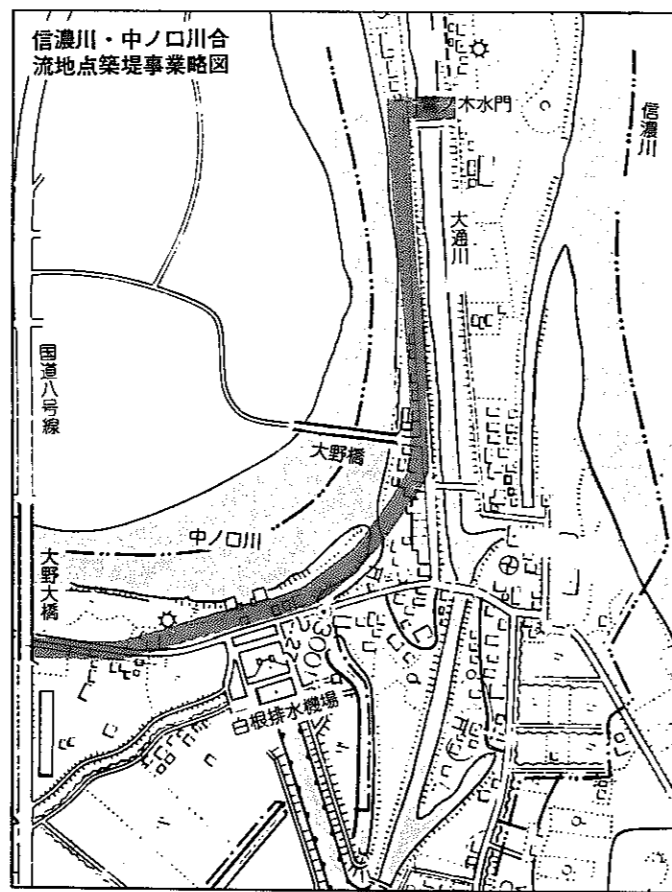
庄瀬・赤沢地区での事業は、地域の協力をいただいて五十八年度に完了しました。今年度は、大郷地区に新規事業を導入する計画です。また、継続で進めている戸頭農免農道は完了するよう工事の促進を図り、東笠巻基幹農道整備事業にも取り組んでいきます。このため一千七百四十四万円を措置しました。

農村総合整備モデル事業

昭和五十年に着工以来九年で、全体計画事業費（十九億六千二百万円）の五五％に当たる十億八千四百万円を投じて道路、排水路、防火水槽などの整備を図ってきました。今後ともできる限り早い年次の事業完了に努力をしていきます。

河川環境整備

なお、今年度の事業費配分はまだ明らかではありませんが、鷲巻地区に農村環境改善センターを建設する計画で、これに係る経費として一億二千四百万円を計上しました。中ノ口川右岸の立竹木の伐採を、鰯淵から高井興野までの三千四百坪にわたって実施します。そのため三百万円を措置しました。また、引き続き鷲ノ木大通川の河川環境整備事業も促進されるよう努力していきます。このほかの事業として、道路台帳の作成や農業用排水路の事故防止対策にも取り組めます。



庄瀬地区での築堤工事

花見を楽しむ市民も多い環境整備された大通川河川敷で